

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	末梢神経・骨格筋を用いた末梢神経・筋疾患の診断、検体保存、病態研究
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
1960年1月1日以降、末梢神経・骨格筋疾患のため新潟大学医歯学総合病院神経内科で末梢神経・骨格筋生検術を受けた患者さん。	
③概要	
<p>末梢神経・骨格筋を侵す神経・筋疾患とは、炎症性筋疾患（多発性筋炎・皮膚筋炎など）、筋ジストロフィー、炎症性末梢神経疾患（慢性炎症性脱髄性多発神経炎など）、遺伝性感覚運動ニューロパチーなどがあります。近年、神経科学の進歩により、筋ジストロフィーをはじめとした疾患の原因遺伝子が同定されてきましたが、依然として多くの末梢神経・筋疾患の原因は不明で、多くの疾患で根本的治療法がありません。末梢神経・筋疾患の原因を明らかにし、新たな治療法を開発するためには、生検術により得られた末梢神経・骨格筋の残余検体およびその臨床情報を用いた研究はとても重要です。そこで、診療の一貫として行われた生検術から得られた残余検体（末梢神経、骨格筋）と臨床情報を保存し、その上で病態研究を行い、新たな治療法を開発することが、本研究の目的です。</p>	
④申請番号	2017-0087
⑤研究の目的・意義	末梢神経・筋疾患の原因・病態を明らかとし、適切な治療及び全身管理が可能となるよう目指しています。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から2027年6月まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	カルテに保存されている病歴、血液検査結果、髄液検査、生理機能検査結果、CT・MRI検査、病理検査結果を利用します。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	病歴（年齢、性別、死亡情報、治療内容）、血液検査結果、髄液検査結果、CT・MRI検査結果、生理機能検査結果、病理検査結果など
⑨利用の範囲	新潟大学脳研究所脳神経内科
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学脳研究所・医歯学総合病院脳神経内科 教授 小野寺理
⑪お問い合わせ先	脳研究所脳神経内科医局 小野寺理、河内泉 Tel: 025-227-0666 E-mail: ikawachi@bri.niigata-u.ac.jp